

ゆうかりに乾杯

第43回放送の概要 (2011年12月24日放送)

パーソナリティ

さくら (安本久美子)
タロウ (佃 由晃)
なかちゃん (中嶋邦弘)

コアラさんの地域瓦版

アコちゃん (三木文子)



ミキサー

門ちゃん (門田成延)
一ノ瀬悟

相談役

わだかん (和田幹司)

会計

小山俊則

(CM) JR兵庫駅前の「神戸ルミナスホテル」, 抜群のロケーション、最新の設備と最高のおもてなし、ビジネス、観光の快適な拠点として皆様のお越しをお待ちしております。1階コローレではおいしいコーヒや紅茶、おいしいランチやお食事なども楽しめます。今日は「神戸ルミナスホテル」様 (TEL:078-511-7700) のご協力を頂きました。

1. ゲストコーナー (1): カラハイ プランニング代表 兼次賢一さん

本日のゲストは、7年前に神戸市が震災後の新長田に元気がないということで、復興するためのリサーチをしたところ沖縄であることがわかり、沖縄の企業が招致された時に神戸に来られたカラハイ・プランニング代表の兼次賢一さんです。神戸に来てから先月11月19日で7年目に入りました。兼次さんはFMわいわいでパーソナリティとして、毎月第1月曜日の13時~14時に「南の風」の沖縄編を担当しています。那覇高校 (旧制二中) の卒業で、一中は首里高校、三中は名護高校である。また沖縄の学園は大学ではなく高校である。

沖縄の島守と呼ばれた神戸二中出身の島田勲さんは、戦時中の最後の県知事で当時は官選のため本土から赴任された。前任の泉知事は10月10日の那覇空襲で焼け野が原になったその最中に本人は出張ということで本土に帰ってしまい、香川県の知事になった。その後任として島田さんに白羽の矢が当たったもので、明治34年12月25生まれで明日生誕110年になる。神戸生まれで西須磨小学校、神戸第二中学、第三高等学校、東京帝国大学法学部に進んだ。その後内務省の警察畑を歩み、貧乏くじを引いたと言われる沖縄県知事に就任した。当時は戦争のさなかで死に行くようなもので、色んな人が断わり、自分が断れば誰かが死ぬことになり、それは出来ないということで昭和20年1月に着任し、同年6月44歳で亡くなった。野球、ラグビーなどスポーツ万能の方であった。来年は沖縄本土復帰40周年を迎えるが、兵庫沖縄友愛協定締結の40周年でもあり、記念すべき年になる。戦争で沖縄県では米軍を含め20万人が亡くなり、そのうち日本軍と県民で12万人が亡くなっている。島田知事は県民の食糧確保のため台湾に命からがら出向き、蓬莱米200石を確保した。NHKの放送劇「阿旦の島」では、米が沖縄に届かなかったとされていたが実際は届いていた。県の人口課が台湾や九州への疎開を担当していたが、鹿児島に向かう船が撃沈 (対馬丸事件: 昭和19年8月22日米潜水艦の魚雷攻撃を受け沈没、疎開者1661人のうち1484人が死亡) されたことにもめげず島田知事の指揮の下、疎開を進め多くの人命を救った。島田知事が道を歩いていると村民が気安く声をかけたり、お酒を一緒に飲んだりする親しまれる知事であった。当時沖縄は方言や音楽が禁止されており、これらを開放したのも島田知事であった。「島守」というのは沖縄の先生方が浄財で建立した碑「島守の塔」につけられたもので、兵庫高校には沖縄に向けた「合唱の碑」が建立されている。島田知事は戦争でどんどん南に追いやられ、最後を迎え

た摩文仁の丘にある沖縄平和祈念公園内に島守の塔、慰霊碑が建立されている。また此処には戦争で亡くなった方々の名前を刻んだ「平和の礎」がある。島田杯については沖縄では野球の新人戦で優勝した者に贈られている。また島田観杯はテニスの勝利者に贈られている。兵庫高校でも全国レベルの活躍をした人に島田杯が贈られている。島田知事が沖縄に赴任した時は青酸カリと拳銃とお酒を持ち、いつでも死ぬ覚悟が出来ていた方であった。



阪神淡路大震災の時、須磨水族館が破壊され魚が死んでしまった時は、沖縄のちゅら海水族館が音頭をとって全国の水族館に呼び掛け、浄財と魚をプレゼントし震災4カ月後に復活することが出来た。島田知事の遺徳が通じたものである。また沖縄の珊瑚（コーラル）の砂を加西の道路に混ぜ合わせフラワロードを作った。

2. ミュージック：島守の塔賛歌

この曲は合唱（女性合唱団 White Lity）、独唱（川満里加）、ピアノ（川満睦）で演奏されており少し暗い曲であるが、明日12月25日は島田知事の誕生日であるため、遺徳を偲んで聴いていただきたい。曲をバックに朗読する詩は、南城市立大里北小学校六年 比屋根憲太君の作ったもので「平和のいのり」です。

平和のいのり

石に刻まれた家族の名に 涙を落とす祖母
 なんの形見も残っていない石に
 声にならない声で 石をさすり
 石をだきしめる
 小さな声でとても小さな声で
 「本当は話したくないサー」
 少し首をかしげて 空を見上げる
 人さし指の大きさの大きな傷
 あごと左腕に残る 戦争の傷あと

祖母は傷の手当てをするために
 水くみに行った
 防空壕に姉を残し 母と二人で
 そのあとすごい光と音が・・・
 そのまま姉は戻らなかった
 「いっしょに連れて行けば良かった」

「ごめんね ごめんね」
 と何度も何度も きたときよりも
 石を強くさすり 石を強くだきしめる
 ぼくはもう声をあげて泣いていた
 そして祖母の背中をずっとさすった
 こんな青い空に こんなおだやかな沖縄に
 戦争は似合わない
 祖母のくしゃくしゃな涙も 似合わない

そんな祖母はもう今は歩くことが できない
 毎日毎日空を見て きっと
 生きている喜び
 生き残った悲しみを感じて いるのだろう
 ぼくは車イスをおして
 祖母のいのりを引きつぐ
 戦争のない平和な国を

(注) 2009年6月23日の沖縄慰霊の日に摩文仁（まぶに）の丘で開催された「沖縄戦没者追悼式」で比屋根憲太君が朗読した詩です。2007年6月23日、家族で訪れた平和の礎で祖母が泣き崩れる姿を見ました。その時、初めて祖母には姉がいたこと、身体に残る傷跡の理由を知りました。泣きながら祖母の背中をさすり、戦争の悲惨さを実感しました。戦争はとても怖い。身内を失った家族にも60年以上悲しみを引きずらせている。二度と繰り返してはならない。朗読で、戦争をしている国にぼくの祈りを届けたいです。

沖縄は日本で唯一地上戦があった場所で、畳1枚で700発の銃弾が撃ち込まれ、生きることが不思議なくらいのひどい状況であった。負の遺産であるがその中で今の時代にはいない島田知事の気骨ある遺徳を偲びたい。

沖縄県と兵庫県の交流については、沖縄が本土復帰した昭和47年11月に神戸の国際会館で屋良朝笛沖縄県知事と坂井時忠兵庫県知事との間で「友愛県提携に関する協定書」が締結された。記念して沖縄県の物産や写真展が催された。金井元彦知事（元）が島田知事の後輩であることで繋いだものである。沖縄からは1月にスキーの交流で兵庫に行き、兵庫からは沖縄でキャンプ交流が今も毎年続けられている。

3. ゲストコーナ（2）；カラハイ プランニング代表 兼次賢一さん

沖縄の文化は、元々琉球王国の時代に中国との朝貢貿易をしていたことに関係している。中国からの冊封使（注：中国皇帝から琉球王に任命する旨の詔勅を持ってくる使節団）は、冠、纏（まとい）、直書を持ってくるので儀式がおこなわれる。1艘の船で300人～400人来て半年間沖縄に滞在する。この時のおもてなしのために宮廷音楽が国家事業になり、中国の三線を取り入れて沖縄独自の発展をしていった。日本の能と三線が合体して出来たのが組踊で、これは昨年11月に世界ユネスコ遺産に登録された。組み踊りは、せりふと歌と踊りが一体となったもので踊りや芝居の所作などは能や歌舞伎に近い。陰と陽の部分や仏教的な部分があり、上級者になれば瞬きをしない練習が必要になってくる。感情が入り涙が出ないようにしなければならない。すなわち感情を超越出来ないという師匠にはなれない。台詞には王様を讃えるもの、庶民に伝わっている民話、男女の恋などである。古典の民謡から始まり、一般大衆の雑踊りの順に行われる。

（注：雑踊りとは、琉球王朝消滅後、御冠船踊りの役者たちが生活のため、庶民に見せるために民謡なども取り入れて、自由で軽快な身のこなしで庶民の生活・感情を素直に表現したものの。）

沖縄の三線は17世紀に泉州堺の琵琶法師に伝わり、北前船の廻船で四国、長崎、福岡、新潟、津軽に伝わった。津軽は寒さのために手が止まってしまうので、汗をかくために琵琶の三角バチを使うので、柄が10cm長くなり太さが1.3倍になった。その後出雲の阿国さんが自分の踊りの伴奏に三味線を使って本土に普及したのが現在の三味線のルーツである。沖縄の三線なくして今の歌舞伎はないと言える。

カラハイは沖縄の方言で羅針盤と言う意味。エイサーは1603年に京都の浄土宗の袋中上人が中国に行く途中で遭難し琉球に流され、亡くなった人の鎮魂のため念仏踊りと三線を伴奏として出来あがったものである。エイサーはこのように本来は鎮魂のためであるが、この20～30年で創作エイサーが生まれ、現代音楽の振付をし、衣装もあでやかになり、かっこよくなっている。那覇では8月に1万人のエイサー、9月第1週には2日間伝統エイサー大会で数十団体、述べ30万が参加する催しが開催される。わだかんさんは神戸では震災の年の5月に各地から励ましのグループの1つにエイサーがあり、太鼓の音を聞くと気持ちが高まり気合いをもらった気がした。最近幼稚園から小・中・高校の運動会の発表の場でエイサーが使われることがあり、その指導に行ったりしている。

（注：エイサーの語源は、おもろぞうし（沖縄の万葉集）の中にある、エイサー エイサー ヒヤルガエイサーが有力）

カラハイプランニングの代表としての兼次さんはプロデュースが本来の仕事で、琉球ワールドのイベントを担当したり、沖縄修学旅行の事前・事後学習などで沖縄の講話、エイサー体験・観賞、琉球舞踊の体験・観賞などを行っている。また来年1月9日成人の日には、2012年新春琉球の宴として、新長田駅前ビフレホーの大ホールで、13時半開場14時開演の部と、18時開場18時半開演の夜の部を開催します。沖縄から子供達の宝塚版と言えるナンバーワ

ンの16名の子供たちが琉球舞踊を演舞する「童舞花わらび」、エイサーの「琉球國まつり太鼓」、創作エイサーの「神子」、書家の西口賢治先生など2時間半のライブがあります。この催しは今年の1月9日に第1回を行い、来年は2回目になる。沖縄は元々礼節を守る国、おもてなしの国、芸音の国であり、チムグクルと言って思いやりの精神があり、平和を愛すると言う趣旨を込め、沖縄復帰40周年という節目、友愛締結40周年ということから売り上げの一部を島守の会に供養料を寄付することを考えている。

出演する子供たちは4才～高校2年生であるが、プロであるためお客さんをどのように喜ばせるかをいつも考ており、またとても礼儀正しい。奄美は元々琉球であり食文化も良く似ている。琉球ワールドにある泡盛は関西一多く430種類置いてある。泡盛の飲み方は年配の人はチョコでグッと飲むが水割りで飲む人が多い。度数が高く30度がベースで43度のものを飲んでいる。わだかんさんは学生時代に鹿児島から与論島に船で行ったことがあり、乗船した途端泡盛を飲めと言われて困ったことがある。沖縄の言葉でイチャリバチョーデーは会ったならば友達さという意味であり、モアシビは若い男女が砂浜で三線と歌と踊りで合コンすることである。

兼次さんとしては今年はライブをやりすぎた感があるので、来年は島田叡さんの遺徳を偲ぶと言う意味で、NPOイチャリバチョーデーを立ち上げ、子供たちの三線、舞踊、空手、エイサーなどのグループと神戸の子供たちがホームステイしながら交流していくことをライフワークにしたいと考えている。これまでの両県の交流をさらに深くし、芸能分野に広げていきたい。

日本が鎖国の時代は北海道、長崎出島、薩摩経由の琉球以外は一級の情報、文化が入らなかった。元は琉球産のサツマイモによりどれだけ多くの人々が助かったかわからないし、紅型というあでやかな色の着物は中国柄、琉球柄に手染めたもので京都に行くとき京友禅、石川県に行くとき加賀友禅になるなど琉球経由のものが多い。

4. ゆうかり大好きコアラさんの地域瓦版

新長田駅鉄人前では新長田アジアンまつり2011が開催され11時～17時ビアガーデンもあります。須磨水族館(スマスイ)では12月31日は25時まで開館し、水槽前でアクアコンサートが行われます。その他色々なイベントがあります。1月1日の日の出は7時6分ですが、摩耶山掬星台で初日の出を見ませんかという催しがあります。須磨離宮公園では1月7日は昔ながらの日本のお正月を楽しむ駒まわし、竹馬など、1月8日はぜんざいのふるまいがあります。1月9日のカラハイプランニングの新春の宴のチケットは琉球ワールド宝島の電話078-611-2516にお問い合わせください。

9月にゲスト出演頂いた舞子高校の諏訪先生が「高校生、災害と向き合う」という本を岩波ジュニア新書から出版されました。

寒中見舞いを出す時期については小寒を過ぎるとその時期になるようです。お酒を飲みすぎるシーズンですから七草粥はしっかり食べましょう。

5. 来週のゲスト

兵庫高校1年生総合科学類型の生徒さんにお越しいただきます。

番組に対するご意見、ご感想はこちらまで：yuukarinikanpai@gmail.com

沖縄復帰40周年
新春 琉球芸能の宴 2012
追加公演
平成24年1月9日(月) 公
開場 13:30 開演 14:00
ピレホール 大会場 【チケット】
前売券:4,000円(自由席)
当日券:4,500円(指定席/自由席)
後援: (財) 沖縄観光コンベンションビューロー、サンテレビジョン、琉球ワールド、琉球タイムス、琉球新報、ホテルサブ神戸アスタ、FMわいっ、沖縄県人会兵庫県本部、兵庫・沖縄友愛運動振興会の会、神戸友愛の会、あしきまはやりや
【問い合わせ】 主催: カラハイプランニング
神戸市長田区二丁目8-6-5-203
お問合せ: TEL 080-4395-4007 FAX 078-641-3917
kaneshi@karahy.com URL: http://karahy.jp/